

はじめに



近年、少子化や核家族化、情報化や国際化など、子ども・若者を取り巻く環境は急速に大きく変化しています。

こうした中で、例えば、ニートやひきこもり、不登校など、社会生活を円滑に営む上での問題が相互に影響し合い、さらに、新たな課題として「子どもの貧困」や「ネット依存」などが表出し、これまでになく複雑かつ複合性を帯びた状況となっています。

このため、本県では「限りない可能性を大きくはばたかせ、群馬の未来を創生する」を基本理念に掲げた総合計画「はばたけ群馬プランⅡ」において、群馬の未来を担う子ども・若者の育成を推進しているところですが、この総合計画に沿って、すべての子ども・若者が健やかに成長し、持てる力を活かしながら社会的自立ができるよう、「第2期 群馬県子ども・若者計画」を策定しました。

本計画では、それぞれの生まれ育った環境や発達段階で生じた困難な状況を、子ども・若者が抱え込まないように、地域社会全体で支えながら、社会の一員として、それぞれの場所で輝く子ども・若者を育てることを県の使命として、基本目標に「困難の有無に左右されず、それぞれの個性を活かしながら、社会の中で自立・参画・共生できる子ども・若者の育成」を掲げました。

すべての子ども・若者が社会的自立を果たすことができるように、学校、家庭、地域が一体となり、社会全体で計画の推進に取り組んでまいりたいと考えております。県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、熱心に御議論をいただいた群馬県青少年健全育成審議会の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただいた県民の皆様に、心よりお礼申し上げます。

平成30年3月

群馬県知事

大澤正明